

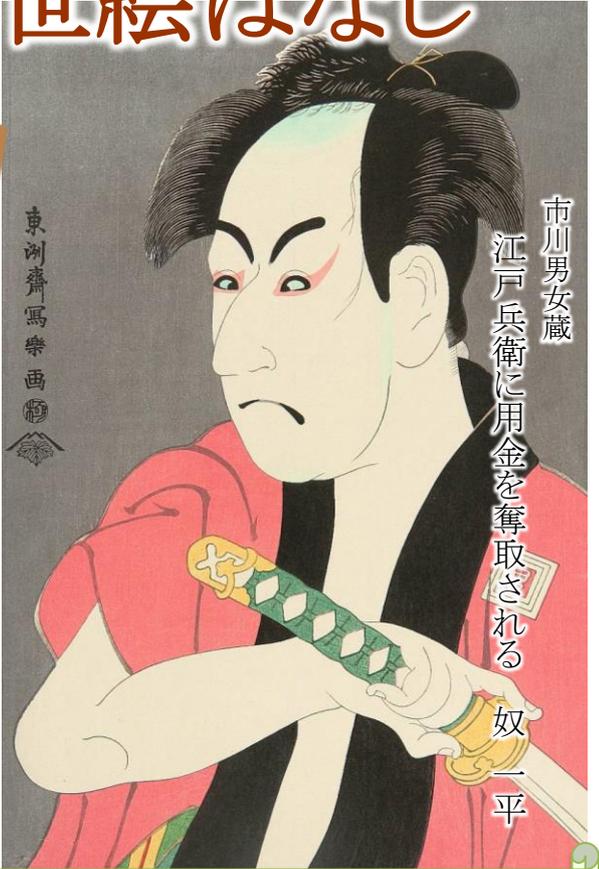
目からウロコの浮世絵ばなし



三代目 大谷鬼次 悪役 奴 江戸兵衛



第三十二回公開講演会
恋女房染分手綱
涼みの段



東洲齋 写楽画

市川男女蔵

江戸兵衛に用金を奪取される 奴 一平

江戸中期・謎の浮世絵師・東洲齋 写楽が描いた人気歌舞伎役者の大首絵。その後忽然と姿を消した写楽等とかく謎めいた浮世絵の世界をちょっと覗いてみませんか？

講師 名古屋市博物館 副館長 神谷 浩 氏 (かみや ひろし)

昭和 28 年 12 月 愛知県高浜市生れ 61 歳

昭和 55 年 3 月 名古屋大学大学院文学研修科修士課程卒業

昭和 56 年 1 月 名古屋市博物館 学芸員から平成 9 年名古屋市美術館に異動

平成 23 年 4 月 名古屋市博物館 副館長として異動。現在に至る



◎ 「世界で一番有名な日本人はどうやら北斎。その次は歌麿や写楽らしい」確かにゴッホやモネは「浮世絵」に影響を受けて賞賛しており、その時代の最新情報として、又 当時としてはおそらく世界で唯一「カラー」で伝えてくれるものでした。ともすれば、古臭くカビ臭いものの様に思われがちな浮世絵の先入観を取り払って自分自身の目で浮世絵を見ると、新しい発見が次々と出て来ます。ゴッホやモネと同じ様に北斎・歌麿・写楽 等の時代の浮世絵を芸術作品として見てみましょう。

日時：平成 27 年 7 月 2 日(木) 12 時 30 分：開場

開演：13 時 30 分～15 時 00 分

場所：伏見ライフプラザ 5 階 鯉城大ホール

伏見交差点から 元 御園座前を南へ約 200m

※入場無料 要約筆記&手話通訳も準備。

多数お誘い合わせの上ご来場下さい



主催：名古屋市高年大学 鯉城会 お問い合わせ ☎ 025-222-7521